



議会改革

多様化・複雑化する地域課題に、必要な対応をする執行機関としての長（町長）に対し、町議会は、住民のニーズを汲み取り、納得できる合意形成をする必要性から、

その果たす役割は、ますます大きくなってきています。

その反面、町議会議員選挙の投票率低下や、無投票当選の増加にみられるような、住民の議会に対する関心の希薄化が顕著になっている課題もあります。

そのような現状の中、須恵町議会では、住民の皆さんに「議会のしくみ」や「議会の役割」を知っていただき、身近な政治へ関心を持っていただくことが、極めて重要であると思っています。

住民の皆さんと共に、まちづくりに参加できる議会を目指し、住

民の皆さんの声を行政に生かせるような「議会改革」に積極的に取り組みます。

今までも、タブレットを活用した議会のペーパーレス化、議員定数の削減、長期欠席議員の報酬の減額など、議会改革を行ってきました。今回の9月定例会において「議会改革調査特別委員会」を設置し、議会改革の歩みをさらに進めます。

議会改革を、議会活動の最終的な到達点である住民福祉の向上につなげていきたいと思っています。

認知症を学び地域で支えよう

目的

令和7年には5人に1人以上が認知症になると推計されています。認知症の人が穏やかに暮らし、尊厳をもって最期までその人らしくあるために、支えあえる町を目指すには、認知症を正しく知ることが必要です。今回は、町で行っている認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に対する取り組みについて調査しました。

認知症とは

脳細胞がなんらかの原因で傷ついて、記憶や思考などが働かなくなることにより、認知機能が低下し日常生活や社会生活に支障をきたす状態のことをいいます。

認知症サポーターとは

認知症の人やその家族の応援者です。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、温かい目で見守る事からスタートします。認知

症の状況、特性、症状などの正しい知識を得て、身近な人や自らの異変に気付けるように講座を受けたいです。

受講内容は

認知症の症状・診断・治療や予防の考え方、認知症の人への対応の心得・具体的な対応方法、介護者（家族）の気持ちの理解などを学びました。



認知症を題材にした博多にわか

今後

意見交換で、サポーターなどがいる「認知症の人が安心して買

調査を終えて

急速な高齢化にともない、認知症は他人事ではなく、老後の不安のひとつです。議会としては、多くの人に認知症サポーター養成講座を受けていただけるよう支援してまいります。また、須恵町には、高齢者のさまざまな相談ができる地域包括支援センターがありますので、ぜひ活用してほしいと思われました。



委員会中の様子

すえっ子未来ちん 須恵町町制70周年 SUE TOWN 70にしてのり 矩を踏えず 70歳を越えての行動は 真の自由を得るのじゃよ 70歳を越えての行動は 真の自由を得るのじゃよ 70歳を越えての行動は 真の自由を得るのじゃよ

ライブ配信を 始めました!

9月定例会から、インターネットによる本会議のライブ配信を始めました。ご自宅などからでも、パソコンやスマートフォンを使って議会の様子を見ることができます。過去の本会議も録画配信をしています。ぜひご覧ください。映像配信はこちらから

本会議傍聴のご案内 本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される人は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。(予約不要) 議会議録を公開しています。須恵町のホームページで、本会議の会議録を公開しています。(平成23年以降の会議録を掲載) URL: http://www.town.sue.fukuoka.jp/ 須恵町議会 検索

知って いますか? LINE 須恵町には、LINEの公式アカウントがあり、防災・ごみの収集日・イベントなどの情報を発信しています。ぜひ、友だち登録をして、町の情報チェックしてみてください。詳しくはこちらから

